

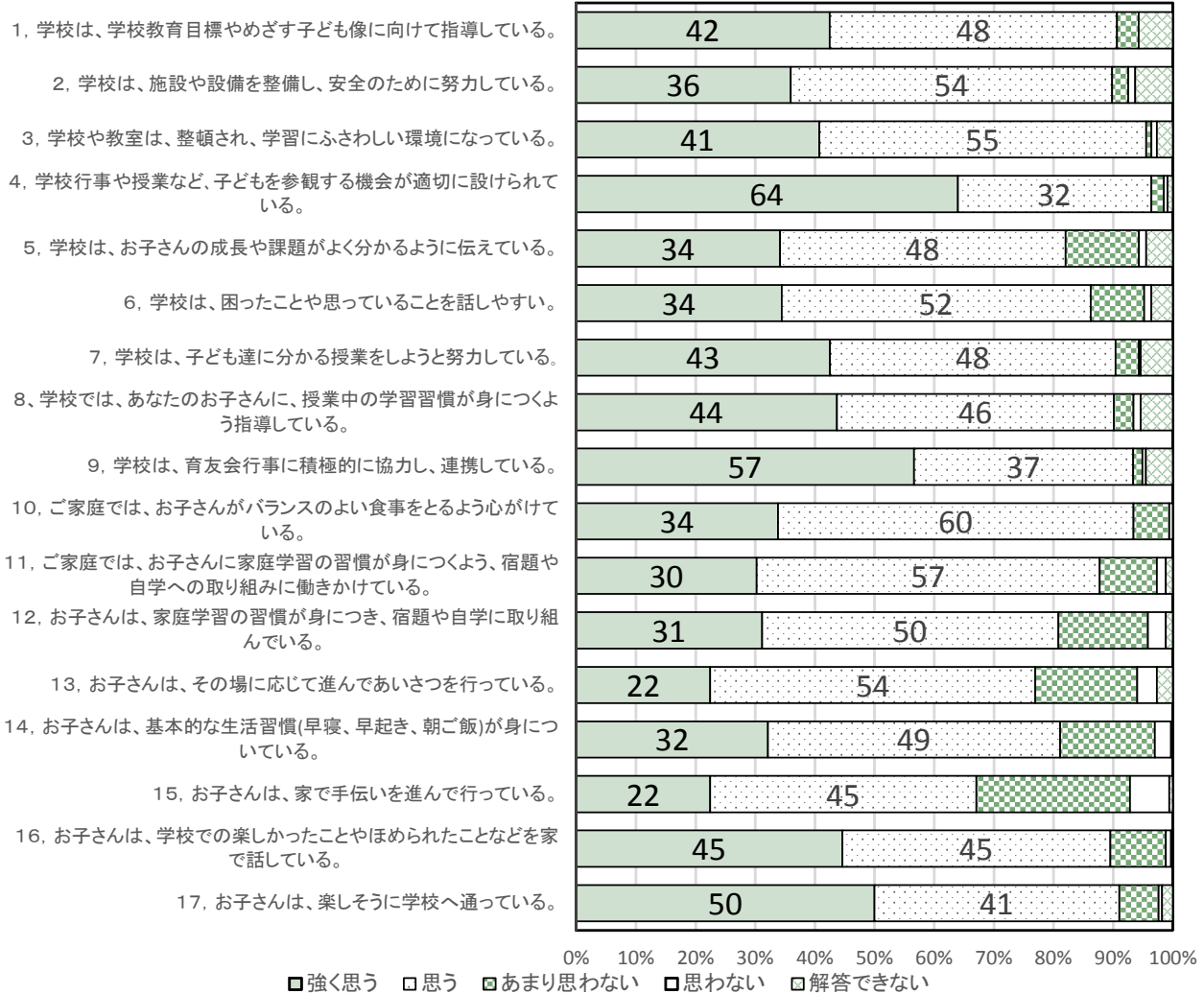
平成28年度後期 保護者アンケートの集計結果から

大寒の候、保護者の皆様には、ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、二学期末に保護者の皆様にご回答いただきました「保護者アンケート」（回収率96%）について集計が完了しましたので、ご報告いたします。

集計結果

H28後期保護者アンケート結果(334人回答 回収率96%)



結果分析

○分析・検討の方針は次の通りです。

「強く思う」＋「思う」が80%以上の項目は、「おおむね満足」項目

「強く思う」＋「思う」が80%未満の項目は、「検討・改善」項目

・「おおむね満足」が80%未満の「検討・改善」項目となったのは、次の2項目です。

⑬お子さんは、その場に応じて進んであいさつを行っている。……………77%

⑮お子さんは、家で手伝いを進んで行っている。……………67%

※次頁で、結果について詳しくお伝えします。

## 前期の改善項目について結果

⑬お子さんは、その場に応じて進んであいさつを行っている。－ 2. 8% (77%)

あいさつについては、本校では、「あいさつ日本一」を目標に掲げ、年間を通してあいさつ運動を展開しています。あいさつボランティアを募集し自主的な参加を促したり、マスコットのあいさつロボを5色揃えたり、工夫してきました。低学年の児童は興味を示し、積極的な参加が見られましたが、全体的な広がりや元気なあいさつが響くところまではいきませんでした。子ども達があいさつの大切さを知り、意欲的に取り組むことができるよう今後も工夫を凝らして取り組んでいきたいと考えています。

⑭お子さんは、基本的な生活習慣(早寝、早起き、朝ご飯)が身についている。  
－ 4. 0% (81%)

基本的な生活習慣の醸成は教育の大切な根幹のひとつです。家庭生活の充実、学校生活の充実にもつながります。「早寝、早起き、朝ご飯」ができていく児童は、意欲的に学習する、学習内容の定着がよいという科学的な実証結果も出ています。家庭と学校が協力して、基本的な生活習慣が身につく取り組みを強化していきたいものです。

⑮お子さんは、家で手伝いを進んで行っている。－ 2. 4% (67%)

家での手伝いについては、前期よりさらに2.4ポイント低くなりました。今後、子ども達が学校の係活動と同じように、決まった仕事を毎日取り組むことができるような工夫や、道徳等で家族の一員としての役割を自覚させる場の設定など家庭と連携をとりながら、取り組んでいく必要があります。ご家庭でも、お子さんと話し合ってみてください。

以上のように、家庭生活に関する3項目については、課題が見られます。今後、学校と家庭が今以上に連携して改善策を講じていくことがますます大切になってきます。

学校の取り組みは、多くの保護者のご理解を得て、「おおむね満足」の項目が多く、前期と比較して、ポイントが高くなった項目がいくつもありました。今後さらに研鑽を積み、子ども達が充実した学校生活を送ることができるよう、取り組んでいきたいと思えます。

### 【ご意見】

たくさんのご意見をありがとうございました。感謝やねぎらいの励ましなど、学校の日々の教育実践に対し、温かい言葉が多く寄せられました。また、様々な面からのご指摘は、今後の参考にさせて頂きたいと思えます。

施設面の不備については、多くの意見が寄せられました。本校が開校してから30年以上経っているので老朽化は否めませんが、緊急性の高いものから順次要望事項として対応していきたいと思えます。

個人面談の順序についてのご指摘がありましたが、昨年同様、今年度も1学期は、あいうえお順、2学期は、あいうえお逆順をとしました。都合が悪ければ変更できますのでご理解下さい。

なお、至らなかった点のご指摘については真摯に受け止め、改善していきます。ありがとうございました。